

**スパッタ付着防止液噴霧装置取扱説明書  
(TKP-A1)**

この説明書は、最終的に本製品をお使いになる方のお手元に確実に届けられるようお取り計らい願います。

**株式会社 トーキン**

## 強制

- 本取扱説明書は、スパッタ付着防止液噴霧装置の操作を中心として、本システムの実作業への応用及び適切な保守点検をしていただくために、安全上の諸注意、仕様の詳細説明、保守点検上の必要事項についてまとめたものです。必ず一読を願ひ、十分にご理解いただいた上でお取扱いいただくようお願い致します。

## 注意

- 説明書に掲載している図解は、細部を説明する為にカバー又は安全の為の遮蔽物を取り外した状態で描かれている場合があります。この製品を運転するときは必ず規定どおりのカバーや遮蔽物をもとどおりに戻し、説明書に従って運転してください。
- 説明書に掲載している図及び写真は代表事例であり、お届けした製品と異なる場合があります。
- 説明書は、製品の改良や仕様変更、及び説明書自身の使いやすさの向上のために適宜変更されることがあります。この変更は改訂版として表紙右上の資料番号の更新によって行われます。
- 損傷や紛失などにより、説明書を注文される場合は、説明書の裏表紙に記載してある連絡先に表紙の資料番号を連絡してください。
- お客様による製品の改造は、当社の補償範囲外ですので責任を負いません。

## 安全上のご注意

ご使用（据付、運転、保守点検など）の前に、必ずこの説明書とその他の付属書類を全て熟読し、機器の知識、安全の知識そして注意事項の全てについても習熟してから、正しく使用してください。



### 危険

取扱いを誤った場合に、危険な状況が起こりえて、死亡または重傷を受ける可能性が想定される場合。



### 注意

取扱いが誤った場合に、危険な状況が起こりえて、中程度の傷害や軽傷を受ける可能性が想定される場合、及び物的傷害のみの発生が想定される場合。



### 強制

必ずしなければならないこと



### 禁止

してはいけないこと

なお、「注意」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。何れも重要な内容を記載しておりますので必ず守ってください。

<b>1. 製品概要</b> .....	5
<b>2. 内容物</b> .....	5
<b>3. システムの仕様</b> .....	5
<b>4. セットアップ</b> .....	6
4. 1    スパッタ付着防止液噴霧装置本体の設置 .....	6
4. 1. 1    本体の設置場所 .....	6
4. 1. 2    本体の設置 .....	6
4. 1. 3    スパッタ付着防止液及び廃液ボトルの設置 .....	7
4. 2    エアー配管の接続 .....	8
4. 2. 1    スパッタ付着防止液噴霧装置への配管 .....	8
4. 3    スパッタ付着防止液噴霧動作フロー .....	9
4. 4    使用上の危険／注意 .....	9
4. 5    製品のお手入れ方法 .....	10
<b>5. サービスパーツ</b> .....	11

# 1. 製品概要

本製品は、アーク溶接ロボットのトーチノズルにスパッタ付着防止液（ノズルコート）の噴霧を行うことができます。

本製品は溶接ロボットと組み合わせてご使用ください。

# 2. 内容物

商品が到着後、直ちに内容物のご確認をお願い致します。

- ・ スパッタ付着防止液噴霧装置 A S S Y × 1
- ・ ノズルコート（スパッタ付着防止液） × 1
- ・ 廃液ボトル × 1
- ・ 給液ボトル × 1

※オプション部品として、ボトルホルダー A S S Y をご購入のお客様は併せて下記部品のご確認をお願い致します。

- ・ ボトルホルダー × 1  
+ 圧力調整器（レギュレータ）

# 3. システムの仕様

表 1-1

	項目	仕様
スパッタ防止液噴霧部	使用空気源圧力	0.2[MPa]～0.4[MPa] 推奨：0.2[MPa]
	適用ノズル径	外径 φ 16～φ 26

## 4. セットアップ

### 4. 1 スパッタ付着防止液噴霧装置本体の設置



- ・スパッタ付着防止液噴霧装置の据付は必ずロボットコントローラの電源を切ってください。けが、装置破損の恐れがあります。

#### 4. 1. 1 本体の設置場所

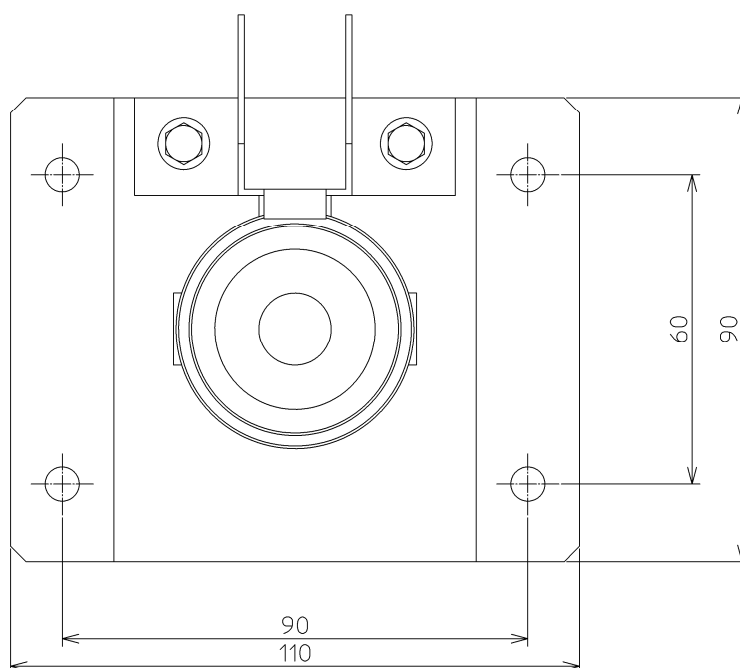
スパッタ付着防止液噴霧装置本体を、下記の条件を満たす個所に設置してください。

- (1) ロボットのトーチ先端が到達可能な位置であること
- (2) 他の機器（治具・ワーク等）と干渉がないこと
- (3) 振動等の外的要因によりロボットとの相対位置が変化しないこと
- (4) 油・スパッタ等が当たらない場所

#### 4. 1. 2 本体の設置

本体の設置は、六角ボルト(M6×4本)等で確実に固定してください。

##### 設置寸法



#### 4. 1. 3 スパッタ付着防止液及び廃液ボトルの設置

本体設置後、スパッタ付着防止液及び廃液ボトルを下記に従い設置してください。

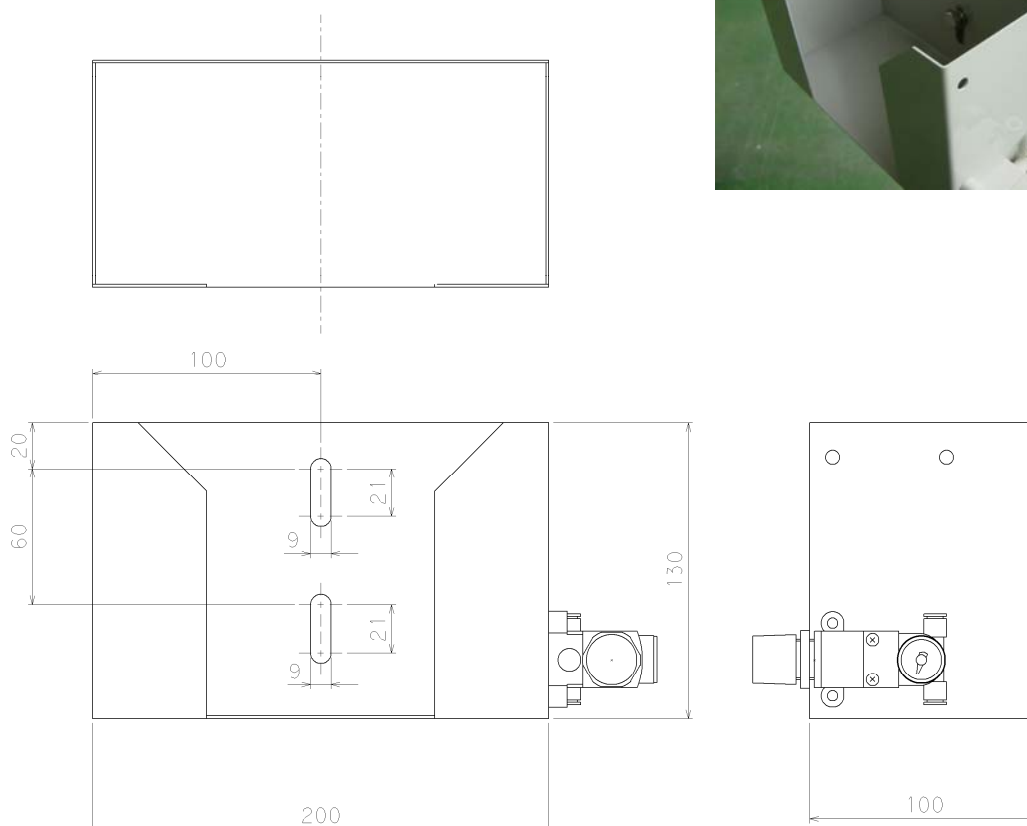
本装置は、自吸式(サクシオン方式)のノズルを使用しております。

スパッタ付着防止液ボトルは、本装置に接続してあるチューブの届く範囲に設置してください。設置高さにより適宜ホースを切断してください。

スパッタ付着防止液ボトルを設置した後に、給液チューブをスパッタ付着防止液ボトルへ、廃液チューブを廃液ボトルへ差し込んで下さい。

ボトルホルダー A S S Y をご購入のお客様は、六角ボルト (M8×2 本) 等で下記寸法に従って設置してください。

#### ボトルホルダー A S S Y 設置寸法



## 4. 2 エアー配管の接続

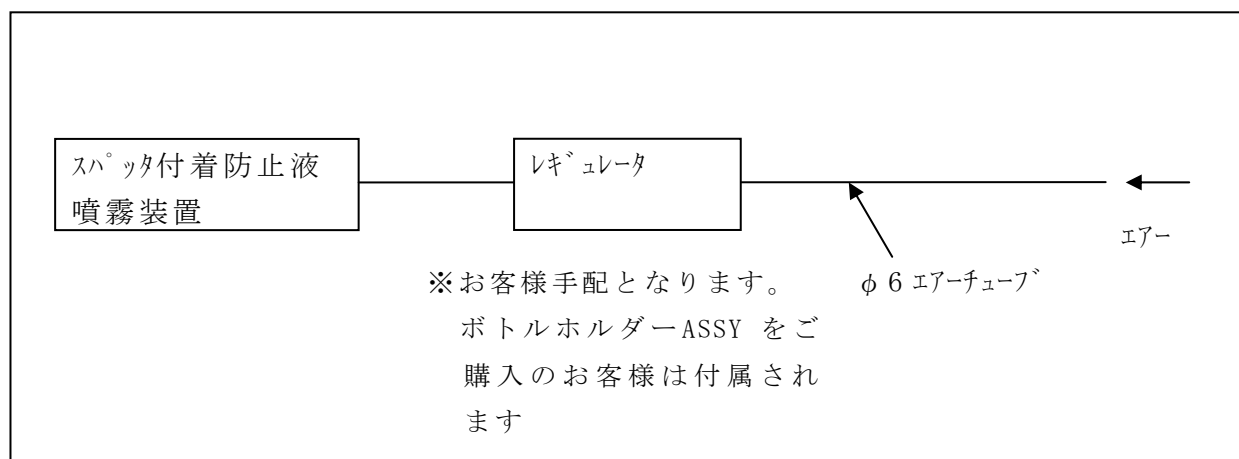
ここではエアー配管の接続手順について記載します。  
手順に従って確実に接続してください。

### 4. 2. 1 スパッタ付着防止液噴霧装置への配管



- ・使用エアーは、清浄なエアーをご使用ください。
- ・エアー用チューブは可燃性のため、溶接スパッタ、高温部等の使用環境に充分ご配慮ください。

噴霧装置への配管は下図を参考にしてください。



ボトルホルダーASSYをご購入のお客様は、ボトルホルダーに取り付けてある圧力調整器(レギュレータ)のワンタッチ継手に外径φ6のエアーチューブを差し込んでください。

圧力の調整は、0.2[MPa]~0.4[MPa]の範囲で設定して下さい。

推奨圧力：0.2[MPa]

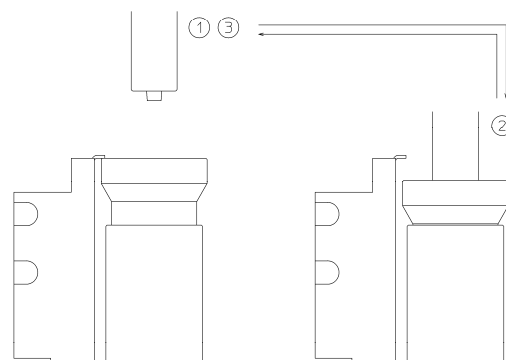
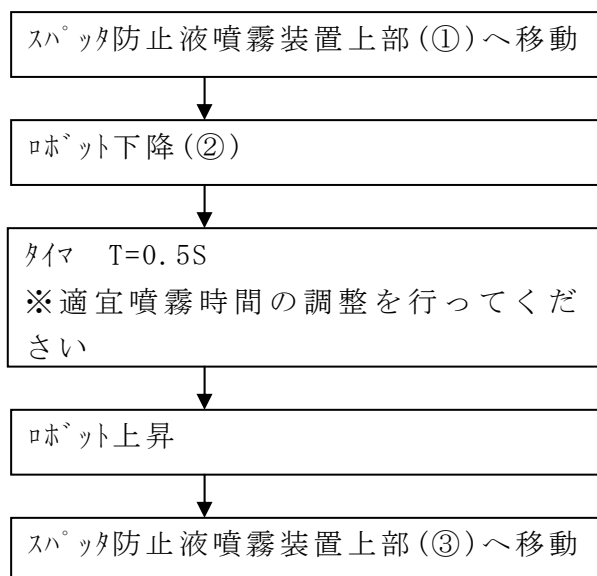
※エアー圧力が高いほど液の噴霧量(消費量)は少なくなります。





#### 4. 3 スパッタ付着防止液噴霧動作フロー

下記フローを参考に作成してください。



#### 4. 4 使用上の危険／注意



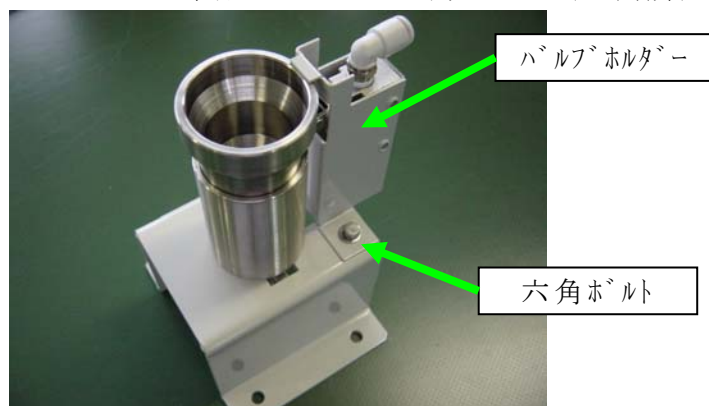
### 警告

- ・定期メンテナンスは、必ず専門の知識をもった方が行ってください。専門の知識を持たない方が行くと、けがや装置破損の恐れがあります。

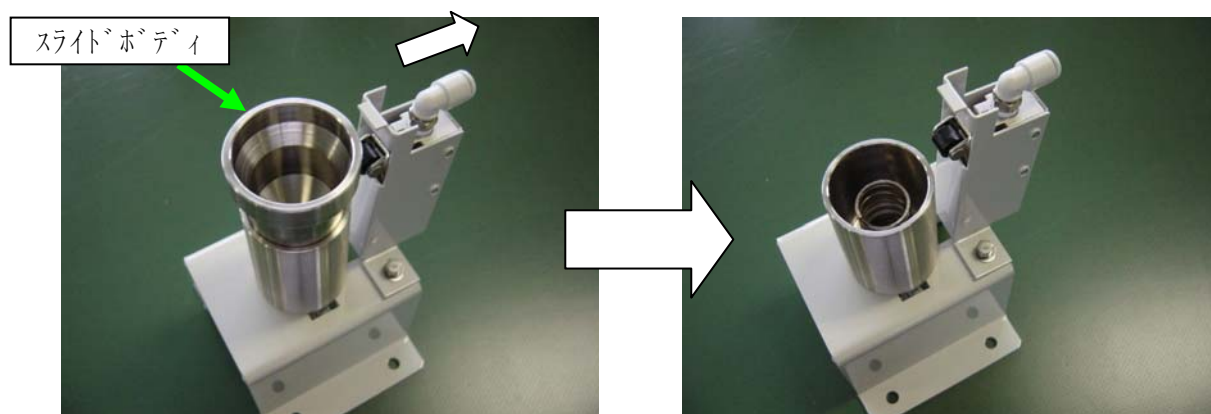
#### 4. 5 製品のお手入れ方法

噴霧装置内にスパッタが溜まった時は、下記手順にて分解掃除を行ってください。

- 1) バルブホルダーを固定している六角ボルト(2箇所)を緩めてください。



- 2) 六角穴付きボルトを緩めると、バルブホルダーが後傾します。  
噴霧装置のスライドボディを上方へ引き抜いてください。



- 3) 噴霧装置内のスプリングを取り外し、内部に溜まったスパッタを取り除いてください。



- 4) 清掃後、スプリングをセットしスライドボディを取付け、バルブホルダーにてスライドボディが抜けないように固定してください。

## 5. サービスパーツ

品番	品名	数量	メーカー	備考
RB500-LLC6	圧力調整器（レギュレータ）	1	CKD	
046114	ノズルコート（スプラッター付着防止液）	1	トーキン	

---

---

スパッタ付着防止液噴霧装置

2014年 9月 12日	Ver 5.0	第5版発行
2011年11月 10日	Ver 4.0	第4版発行
2011年 7月 8日	Ver 3.0	第3版発行
2011年 4月 7日	Ver 2.0	第2版発行
2010年 2月 26日	Ver 1.0	初版発行

問い合わせ先

〒432-8006

浜松市大久保町1509（浜松技術工業団地内）

株式会社 トーキョー

TEL 053-485-5555（代表） FAX 053-485-5505

URL : <http://www.tokinarc.co.jp/>

E-mail : [eigyoutokinarc.co.jp](mailto:eigyoutokinarc.co.jp)